



トップに聞く!

創業は大正10年。
長い歴史で培った高機能物流を
国内外で提供します。

鶴丸海運 株式会社
代表取締役社長

鶴丸 俊輔氏

取引店 / 福岡銀行 北九州営業部



▲若戸大橋そばの本社前(左から鶴丸社長、柴戸頭取)



時代変革の波を乗り越え、
国際総合物流企業へと発展

我が社の創業は1921年（大正10年）です。当時日本最大の石炭産出量を誇った筑豊炭田の石炭積出港として栄えていた若松港（北九州市）で、私の祖父・廣太郎が創業した「石炭商・海運業 鶴丸商店」が前身となります。創業当初は汽船や機帆船（※1）を使った石炭の輸送が専業でした。日本の石炭需要の増加とともに事業は順調に拡大、1940年（昭和15年）に廣太郎が全国機帆船組合連合会の理事長に就任するまで業況は順調に推移しました。しかし1945年（昭和20年）、第二次世界大戦による被害を受けて保有船舶（30隻）の全隻を失い、事業の再出発を余儀なくされました。

第二次世界大戦後、同業他社から船舶を譲り受けるなどして、

ク輸送業、倉庫・通関業等に本格的に進出し、現在の我が社の骨格が形成されました。

（※1）沿岸航路の海運に用いられた内燃機関搭載の木造船

海上運送事業を中核に
様々な事業を展開

現在、我が社は国際総合物流企業として様々な事業を展開していますが、その中で最も得意としているのは「海上運送事業」です。売上上の50%を占める中核事業で、国内第3位の運航船腹量（※2）を誇るセメントタンカーをはじめ、一般貨物船、ガット船（※3）など約50隻を運航管理し、様々な形状の物資の一般貨物輸送（※4）を行っています。輸送先は国内だけでなくとどまらず、外航海運事業も展開しており、貨物の形状や重量、性質さらには輸送先を問わず、お客様のあらゆる輸送ニーズにお応えすることができます。

お客様のニーズにあった高付加価値の総合サービスを実現しています。

▲鶴丸社長

港湾運送事業、陸上運送事業、外航海運事業、内航海運事業、国際物流事業、倉庫・通関事業①、倉庫・通関事業②、クレーン事業、環境関連事業

鶴丸海運の多彩な事業

物流倉庫見学風景

▲石炭荷役の様子（昭和20年代）

▲昭和26年に天祥山丸を購入し、初の外航に進出

▲旧日本社社屋（昭和20年代）

体制の立て直しを図っていたところに更なる困難を迎えました。1950年代になると、エネルギー革命へと徐々にシフトしていたため、創業時から石炭の輸送を専業としてきた我が社にとっては、仕事そのものがなくなってしまうという、危機的な状況に直面しました。

何とか生き残りを図るべく新たな事業として着目したのが、当時需要が大きく伸びていたセメントの輸送です。それまでの石炭輸送の実績が認められ、大口先からセメント輸送元請指名を得、石炭輸送用の船舶の大半を売却して、セメントの海上輸送を新たに始め、我が社最大の危機を乗り越えました。この時の反省として、単一の貨物・荷主に依存しては経営が不安定になることを教訓として学び、総合物流を目指すこととしました。その結果として、鉄鋼・機械の荷役、それに付随するトラッ

次の事業が「港湾運送事業」です。日明港（北九州市）にある西日本最大級の規模を誇る鋼材ヤードをはじめ、大型天井クレーンや空調設備を整えた鋼材倉庫や、穀物などを保管する定温倉庫、化学品を保管する危険物倉庫など、用途に応じた西日本有数の保管倉庫群を擁し、お客様のニーズに応じて荷役、通関、倉庫保管などのサービスを提供しています。

他にも「陸上運送事業」においては、トレーラー約250台の他、トラックや特殊車両を数多く保有し、鋼材、自動車部品、住宅建材をはじめ、大型プラント、橋梁など、高い技術が要求される貨物の運送も得意としています。

（※2）貨物の積載量を表す
（※3）自船にクレーンを備えて貨物の積み降ろしを行う特殊船
（※4）液体貨物を除く鋼材、石膏、住宅建材、米、塩などの固形貨物の輸送



国際物流や環境など 将来有望な分野にも進出

将来の有望な分野として位置づけているのが「国際物流事業」や「環境関連事業」です。国際物流事業では、2003年(平成15年)の中国大連を皮切りに、2007年(平成19年)にはタイ、そして2014年(平成26年)にはインドネシアへと進出しました。現地では



国内事業で蓄積してきた物流技術やノウハウ、人材を活用し、倉庫保管や陸上輸送など付加価値の高い物流サービスを提供しています。

また、環境関連事業では、産業廃棄物の収集運搬業許可を、北は北海道から南は沖縄まで合計32の行政から取得しており、1981年(昭和56年)から開始した北九州市の産業廃棄物海上輸送事業を始め、国内で発生する産業廃棄



▲所有船籍の一部

物を船舶・車輦にて輸送を行っています。

さらに、2010年(平成22年)に環境省が推奨する「エコアクシオン21」(※5)の認証を取得しました。現在は全社員が環境意識を向上させ、貨物運送時の二酸化炭素の排出削減に取り組む等、環境に配慮した事業活動を進めています。

(※5)環境省が事業者の環境活動を進めるために1996年(平成8年)に制定した環境経営マネジメントシステム

効率的配送や品質管理などで 高付加価値の物流を提供

我が社では、物流を「ただ物を運ぶだけの工程」ではなく「製品の価値を高める工程」だと捉えて、日本の「ものづくり」を高品質な物流で支えています。その取り組み例をご紹介します。まず鉄鋼製品の品質管理ですが、我が社は国内の製鉄所から船で輸送さ

れてきた鋼材(板状の鋼材やコイル状のワイヤー等)を陸揚げした後、温度・湿度管理が徹底された倉庫で保管して結露や錆の発生を防止するなど、高精度な品質管理を実施しています。さらに陸揚げ時と納品前には全鋼材の検査を行い、もし納品前の品質検査で異常があった場合は、長年の実績で蓄積されたノウハウと独自の補修技術を活用して自社内で補修し、納品しています。

次に、効率的な物流の例ですが、通常1台のトレーラーでは9つのコイルしか輸送できません。しかし、我が社の幌トレーラーは1台で13のコイルを輸送でき、特許取得済、且つ雨で濡れることもありません。このトレーラーの活用により輸送コストの削減と、二酸化炭素排出量の低減に貢献しています。

このような日本で蓄積した物流技術を海外に於いても実践し、



▲最前列左から野依監査役、則松常務、品川常務、鶴丸社長、柴戸頭取、有岡北九州営業部長(福岡銀行)、鶴丸常務、江口部長

海外進出している日系企業様から高い評価を頂いています。

「チャレンジ100」の
取り組みで目指す
更なる進化



現在、6年後に迎える創業100周年に向け、「チャレンジ100」プロジェクトを実施しています。この「チャレンジ100」プロジェクトは、「強い会社」「誇れる会社」「成長し続ける会社」を実現するという目標に向かって、2012年(平成24年)から全社員が一致団結して取り組んでいるもので、社内制度の見直しや新規事業の検討を行っているほか、地域イベントやボランティア活動へ積極的に参加しています。これからも、地域に根差した社会貢献活動を展開し、地元・北九州に愛される企業を目指してまいります。

インタビューを終えて



福岡銀行
取締役頭取 柴戸 隆成

日本の石炭産業の全盛期から、北九州・若松の発展を支えてこられました。数多くの特殊な船舶、倉庫、トレーラーを携え、これまでの長い業歴の中で蓄えられた経験や技術により、お客様からお預かりした製品を高品位な状態でお届けされています。洞海湾に架かる若戸大橋と同様に北九州・若松のシンボルとなって、さらに世界に羽ばたいていかれることを期待しています。



鶴丸海運 株式会社

北九州市の若松港で大正10年に創業し、長い年月で積み重ねた物流の技術やノウハウ、人材を活用して、海上運送だけでなく、倉庫保管や陸上輸送など付加価値の高い物流サービスを国内外で提供しています。貨物の形状や重量、性質さらには輸送先を問わず、お客様のあらゆる輸送ニーズにお応えします。

これからも、地域イベントやボランティア活動への積極的な参加など、地元・北九州に愛される企業を目指します。



- 創業：1921年
- 所在地：北九州市若松区
- 資本金：2億円
- 従業員：387名
- 事業内容：海運業及び総合物流業
- 事業拠点：
 - （本社）北九州市若松区
 - （支社）東京都千代田区
 - （営業所）北九州各地、福岡、熊本、四国、大阪、名古屋、東京
 - （海外拠点）中国、タイ、インドネシア

■ 取引店： 福岡銀行
北九州営業部
093-533-8013